

# IOC (岩切おもしろ倶楽部) 役員会 打合せ記録

令和2年3月13日（金）13:30

於：岩切市民センター 親子室

## §1出席者

会長	渡邊 敏之	岩切市民センター館長	大橋 年男 様
副会長	三浦 雄司	岩切市民センター	河野 様
総務	鈴木 健治		
会計	嘉藤 和男		
幹事	荒川 寿子		
幹事	熊谷 實		

## §2会議 司会：鈴木健治

### 1. 渡辺会長挨拶

去る3月10日（火）午後6時、宮城野区中央市民センターにおいて、令和2年度まちづくり活動助成事業“事業計画説明会”が、新型コロナ感染拡大のため規模を縮小して開催されました。当IOCからは渡辺・嘉藤の2名が出席し、助成事業参加最終年に当たる令和2年度の事業計画を発表しました。その結果、当日審査に当たられた6名すべての評価委員から高く評価されました。これもひとえに会員並びに賛助会員の皆様のご協力の賜物と感謝します。令和2年度においても素晴らしいイベントにしたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いします。

### 2. 令和1年度まちづくり評価委員会・評価結果について：鈴木総務

去る令和2年2月6日（木）に開催された“令和1年度の事業報告会”における当IOCからの報告内容に対し、下記の通り評価委員会・評価結果が届きました。5段階評価で限りなく4に近い評価をいただき、評価委員からは、私たちの活動を高く評価する内容のコメントを数多くいただきました。

#### ① 事業名：いわきり遊学プロジェクト

評価項目	目的	事業内容・手段	財源・経費	成果・達成度
4.00	3.67	3.67	3.67	3.67

※5段階評価（5非常に良い 4ややよい 3普通 2やや悪い 1非常に悪い）

#### ② 評価委員からのコメント（抜粋）

●世代間交流が活発な活動と感心しました。●地域子供たちの大喜利は素晴らしい。次はPTAも。●もっと幅広い世代に集まつてもらえるように。●地域関係各団体との連携・団結がうかがえる。●若い世代のアイディアを取り入れる工夫を。●まちを元気にしたいとの趣旨が伝わってきます。●町内会大喜利も面白いのでは？●寄席が成功して良かった。大喜利が集客に貢献しましたね。

3. 令和2年度まちづくり事業計画・説明会について：渡辺会長・嘉藤会計

- ① 日 時：令和2年3月10日（火）18:00～20:00
- ② 場 所：宮城野区中央市民センター 第一会議室
- ③ 出席者：渡辺会長、嘉藤会計
- ④ 説明内容：別添「いわきり遊学プロジェクト令和2年度事業計画」参照

4. 令和2年度事業の取り組みについて

- ① ぶらっと街歩き：三浦副会長
  - ✓ 日時：令和2年5月24日（日）10:00～12:00
  - ✓ コロナ問題で図書館等閉館しており山崎界隈に関する資料入手が困難なので、資料が無くても企画可能な“余目界隈”に見学場所を変更する。
  - ✓ 市民センター便り等へのイベント案内掲載のため、案内チラシデザインは4月20日までに決定する必要がある。
  - ✓ タイトル案として「知られざる余目城」はどうだろうか。（大橋館長）
- ② 映画「てんびんの詩・激動編」：鈴木総務
  - ✓ 日時：令和2年9月19日 10:00～12:00
  - ✓ 記念品（お土産）を何にするか検討しなければならない。
  - ✓ ヒント：おぼろ豆腐、曲がりネギ、いとう屋のお菓子“イワキリ”など
- ③ 岩切おもしろ寄席2020：渡辺会長
  - ✓ 日時：令和2年11月1日（日）13:30～
  - ✓ 今回は子供たち（児童館）と大人たちの競演を考えている。
  - ✓ 客数200名を目標としたい。
  - ✓ 市民センターで見つかった“屏風”が使えるかどうかを、次回役員会で検討する。

5. 賛助会員の会員の納入方法について：嘉藤会計

- ① 法人会員には、なるべく訪問のうえ会員継続をお願いし、会費をお預かりする。
- ② 個人会員に対しては、事業報告書郵送の際に、会員継続のお願い文書を同封し、会費は市民センター窓口または会員（役員）がお預かりする。
- ③ 銀行振り込みによる会費納入は、手数料が発生することもあり、今回は見送ることとする。
- ④ 個人、法人に限らず、賛助会員入会のお願いは、可能な限り対面にて行うこととしたい。

6. その他

以下について現在準備を進めている（鈴木総務）

- ① 大きめのポスターを作り、岩切駅などに張り出していく。
- ② IOCのPRペーパーを作成し、色々な場所に置いていただく。

7. 次回打合せ：令和2年4月3日（金）13:30～

- ① 令和2年度ぶらっと街歩きについて
- ② 市民センター内で見つかった“屏風”について使用可能かどうかを確認
- ③ その他

以上（嘉藤記）